

# 令和5年度第3回コミュニティ・スクール委員会

(清水・御影CS委員会合同開催)

## 会 議 録

### 1 出席委員等

清水CS委員会~林委員長、中村委員、堀委員、下坂委員、内田委員、恩田委員  
欠席~宮城副委員長、土屋委員、長尾委員、森委員、横山委員、  
御影CS委員会~中村委員長、細田副委員長、米光委員、口田委員、久野委員、上  
谷委員、田中委員、谷口委員、乙戸委員  
【教育委員会】山下教育長、高谷主事  
【事務局】渋谷学校教育課長、太田同課参事(支所長)、山川教育指導幹、平野教頭、  
津田副園長、三木教頭、堀口教頭、休宮教諭、柳田教諭、亀山教諭、  
上出CSコーディネーター

2 場 所 清水町御影公民館大集会室

3 日 時 令和6年3月1日(金)18時30分

4 傍聴人数 なし

### 5 会議内容

#### 教育長あいさつ

新しく今年実施したこともあり新たに考えていかななくてはならないこともあるので、色々お話しができれば良いと思っている。特に学校では成果・課題があり、良いものもあるがなかなか成果が表れなく数字に表せられないこともあるが子供の姿が一番大事と思っている。先日文化センターで子供のほうから先に挨拶をしてくれた。そのような場面に出会うと子どもたちは頑張っていると感じる。普段の地域の皆さんからのお力添えや学校での指導、家庭での指導が少しずつ子供たちの力になって変わっているのだと感じた。子供たちの成長や学校での取り組みについてご意見ご感想をいただきたい。

#### 両委員長挨拶

清水CS委員会林委員長よりあいさつあり。

10月にこの委員会の本来するべきことの再確認と他町村での取り組みについての情

報収集の要望があり、後日いただいた情報から地域全体で学校づくりに参加するということは子供の教育の充実や地域の活性化につながる点の共通点があった。学校の取り組みを皆さんで共有しながら CS 委員としてどんな学校づくりに協力できたか、また、課題に向けどんな活動を補ってほしいのかを学校の方からあればご意見をいただきたい。

御影 CS 委員会中村委員長よりあいさつあり。

先日、御影小学校の 6 年生を対象にウインタースポーツ体験があった。地域と学校との協力の大切さを感じた。

## 説明・協議事項

### (1)各学校等の取組結果について(各学校等から説明)

清水小、御影小、清水中、御影中の順に、事前配布資料(教育のデザイン診断編)に基づき説明

各学校等の説明に対し意見無く、全体で承認される。

### (2)小中一貫教育について

- ・教育指導幹より清水町小中一貫教育推進協議会の実施状況について資料に基づき説明
- ・清水地区の「活動報告」について、推進委員会事務局である清水中学校平野教頭より資料に基づき説明
- ・御影地区の「活動報告」について、推進委員会事務局である御影中学校堀口教頭より資料に基づき説明。

#### 質問・意見

- ・直接かかわる先生方の意見として発表できるものがあれば皆さんに報告してもらいたい。

#### 回答

- ・清水地区では、特に中学校での合唱コンクールのリハーサルの時に小学生とともに第九と一緒に歌ったことは両校の教員も肯定的にとらえており、生徒たちのアンケートでも 9 割以上が続けていきたいとのことだった。今後とも、指導の重点の違いがあるので互いに理解しながら進めていきたい。
- ・御影地区では、数学授業の感想で小学生から「実際に数学を体験して楽しくなった」と書いてくれた児童が沢山いたことから、中学校の担当の教員からはやりがいがあったと申ししていた。次年度小学校の教科書が変わることから各教科の系統表とか教育課程一覧など全体について見直しが必要になるとのことが出されていた。子供たちが授業を受けてよかったと思えるような基盤になると

ころなのでしっかり詰めていきたい。

教育長より発言あり

教育委員会としては、新年度から保護者はもちろんのこと地域の方にも説明の機会を設けていく。小中一貫教育は最終的には子供たちのためであり、小中学校の先生方みんなで子供たちを育てていくことである。新しいことをやることは先生方の負担は大変だが、そのことにより子供たちも新しい力を延ばしていくことになり、先生方の指導力や授業力を高めることにつながっていくこととなる。将来的には子供たちのためであり、先生方のためでもある。そこを目指していくことが小中一貫のめざすところである。実感するまでには時間がかかる。やることによってどれだけ成果が上がりどれだけ変われるのかということ、そのようなことを一年かけて先生方とともに教育委員会も勉強しながら進めていく。令和7年度の本格実施に向けてできることから進めていきたい。

他に説明に対する質問・意見なし

### (3)意見交換(熟議)

清水CS委員会と御影CS委員会をそれぞれ2分散会で討議の後、全体で発表を行う。

しみず「教育の四季」の本年度の重点事項を振り返り、実現できたか、さらに深めるためには何をなすべきか等、めざす子ども像に向けての具体策等の意見交換を行った。

清水B班 司会 林委員 発表 恩田委員

CSとして今後手伝ってほしいことは何かを話し合った。

小学校は保護者が参加するが、中学校になると参加が少なく、見てほしい、来てほしいという意見が出された。

多くの地域の方が入ってもらえる清水町は良くできているとの意見もあった。

小学校においてボランティアにどんな活動をしてほしいかということを出してもらった。現在は、まち探検や書写などに取り組んでくれており子供にとって有益であるが、指導も含めて準備・片付けについてもボランティアに手を貸してもらえるとありがたいとの意見が出されていた。書写の条福授業において会場も広いので準備も手伝っていただくとありがたいとのことである。

「しみず教育の四季」の重点目標について話し合った。

子供たちは進んで挨拶をしてくれる。立派な態度が身につけていることを実感している。小さい時からのあいさつの習慣づけが活かされているのではないかと。

スマホなどのルールについては、ルールにより子供に体験させている家庭もあれば子供任せの家庭もあり、家庭の教育力の関係も大きいのではないかと。学校ではい

ろいろ啓発しているが課題があるとのこと。

中学校の六華の教えを子供の意見により新しくなり自分達で決めた目標を身に付けていくということの意義をとらえている。

ボランティアの助けが入っているが中学校では自分たちですすんで除雪をしているがこういう姿も保護者に見てもらいたい。令和6年度からは縦割りで1・2年生を引っ張っていくとの方針である。PTAについては小中違いがあるだろうが、PTAでできることと地域とのすり合わせが難しいとの意見があった。地域の人が声をかけて安心できることが大切なので地域の人が登下校を見守ってくれることが今まで以上に膨らんでいくとよい。

清水 A 班 司会 平野教頭 発表 柳田教諭

「しみず教育の四季」の重点目標から話を進めていった。こども園ではあいさつ、食事、読書など小さい時から大切さをわかってもらうことを大事にしている。街中でも大人の方にあいさつする中学生が増えてきたり、言葉遣いについても知識がついてきたりしている。ボランティアが学校に行くとすごくあいさつをしてくれ、子供たちのコミュニケーション能力を高めるためにも良い。まだボランティアに来ていただく場面が少ない。子供たちが地域に出ていく機会も少ないとの意見もあった。さらに深めていくとよい効果があるとの意見があった。

御影 A 班 司会 田中委員 発表 口田委員

あいさつについて、御影地域の子供は、積極的にしている。地域の中であいさつがしやすい環境ができています。あいさつは人のためではなく自分のためするもの。また先生が褒めるよりボランティアが褒めるほうが子供たちはうれしい。体験学習をすることにより子供たちの学びが良くなる。御影小2を対象にかぼちゃやにんじくの収穫体験を行っているが続けていくことにより学びが広がっていく。スキー学習を含め、座学だけではなく体を動かしたほうが学校生活をより楽しくさせる。

御影 B 班 司会 米光委員 発表 細田委員

「しみず教育の四季」の重点目標のうち、読書について、子供たちは学校では月2回の移動図書を非常に楽しみにしており、多く借りる子どももいる。だが、家に帰ると本以外の楽しみもありどうしても映像の方に行ってしまうとの意見もあった。ただ、本を読む子供は作文もうまいとのことである。

ルールについてだが、スマホはなるべく後から持たせるように親は考えているが、なかなか難しいのが現状のようである。SNSの危険は学校と家庭で教える必要がある。

あいさつについては、学校内での習慣はできているが、中学を卒業するとできな

くなる。地域の体験活動を通じて顔見知りになって、そこから自然とあいさつができるのではないかと意見があった。

#### (4)その他

特になし

教育長より

CS委員会や教育の四季の会議の中でいろいろお話をいただいている。また秋には子どもフォーラムの中で子供たちからいろんな意見をいただいた。なかなか実現できず心苦しかったが、それらの意見を活かしながら新年度実施しようとしていることがある。一つは、中央公民館と改善センターのホールについて子供たちのアイデアを活かし子供の憩いのスペースに作り変えていきたい。また、町のPRを兼ねてマンホールをデザインしたいとの要望があったので、子供の意見をもらいながら実施したい。子供を主体にし、町の活性化につなげていきたい。

教育長の発言をもって閉会あいさつとし会議を終了。

(20時05分)